

氏名 玉垣 努（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 能登真一 玉垣努 山口昇 等編『作業療法評価学 第3版』医学書院 12月1日
本書は全国のOT学生の4割が購入する教科書であり、編集者として全面改定を行い「脊髄損傷の評価」を執筆し、全体的な編集を行った。

4 学会等での活動

- 1) 脊髄損傷作業療法研究会にて年2回の講習会実施。
- 2) 活動分析研究大会発表と参加 5月20日
- 3) 日本生態心理学会発表と参加 9月3、4日
- 4) 神奈川活分大会参加 12月4日

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 第16回神奈川県作業療法学会を主催した（学会長）7月2日。

6 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した。
- 2) 3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した。
実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成。
- 3) 1年生対象の見学実習において神奈川リハビリテーション病院の引率
- 4) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト（オスキー）を実施
- 5) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 高校教員入試説明会にてプレゼン
- 2) ミニオープンキャンパスを実施した。
- 3) 全ての入試試験において面接官担当
- 4) オープンキャンパス全日程参加し、専攻説明会にてプレゼン
- 5) 人権倫理委員会
- 6) PT及び社会福祉学科の採用面接官を担当した。

8 社会貢献

- 1) 県大卒業生および近隣のPT,OT対象の「よこすかOT勉強会」1回/月の計12回
- 2) 神奈川リハセンター 評議委員として評議委員会に出席した 6月26日。
- 3) トレーラーハウスミーティングを実施した。7月24日
- 4) 日本チェアスキー協会主催チェアスキー大会にて、身体障害者スキーヤーに対するボ

ランティア 2018 年 2 月

- 5) 神奈川スキー連盟主催障害者スキー講習会にて、身体障害者スキーヤーに対するボランティア 2018 年 3 月

9 講演, 放送

- 1) Laugh 講習会を大坂ドーンセンターにて「臨床で役立つ動作分析方法～生態心理学的視点を加えて～」のテーマで 4 月 9 日実施
- 2) 神奈川リハ地域支援センター主催講習会にてハンドリング入門の講師をつとめる 4 月 22 日.
- 3) 和歌山脊損連合会主催講習会にて講義を実施 5 月 21 日。
- 4) リハ工学協会関東・甲信越支部主催講習会にて「頸損の活動性(駆動)を考慮したシーティング」の講義 6 月 24 日。
- 5) 『環境適応講習会』受講生 120 名に対して食事動作についての講義および実技を実施した。7 月 17,18 日
- 6) 神奈川リハ地域支援センター主催土曜日研修において講師をつとめた 8 月 19 日.
- 7) 脊損作業療法研究会において講師をつとめた 9 月 27、28 日.
- 8) 関ヶ原病院主催研修会にて講義および実技を実施した。9 月 24 日
- 9) ハンドリング研究会にて講義および実技を実施した。11 月 4 日
- 10) 『脊損のリハビリテーション』の講義を大阪にて実施 11 月.
- 11) 穴吹リハビリテーション学院において「脊損のリハビリテーション」の講師をつとめた 1 月 20,21 日.
- 12) 脊損作業療法研究会臨床編において講師をつとめた 2018 年 2 月.
- 13) 横浜旭中央総合病院勉強会にて講師を務めた 11 月 26 日

氏名 笹田 哲（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 笹田哲：発達障害のある高校生・大学生のための上手な体、指先の使い方. 中央法規出版, 2018. 3.
- 2) 笹田哲: QOL, 興味, 役割の評価. 標準作業療法学 作業療法評価学第3版. 241-255, 医学書院. 2017.

2 学術論文

- 1) 杉山いずみ, 笹田哲：施設入所している重症心身障害者の生活習慣と作業参加の特徴～短縮版小児作業プロフィール（SCOPE）を使用して～. 作業行動研究 21（1）：1-7, 2017.
- 2) 丸山祥, 笹田哲, 山田孝：高齢障害者に対するクリニカルリーズニングの変化～回復期リハビリテーション病棟での作業療法介入の自省～. 作業行動研究 21（1）：20-27, 2017.
- 3) 山本浩暉, 吉川雅子, 杉山いずみ, 笹田哲：発達障害児をもつ保護者の子どもの整理整頓における悩みとその対応. 神奈川作業療法研究, 8（1）, 15-21, 2018.
- 4) 笹田哲：上肢・手の作業療法評価：小児 定型発達と作業. 作業療法ジャーナル 51(8):668-670, 2017.
- 5) 笹田哲:医療との連携～OT～字に書く“動き”に焦点をあてた書字支援.LD ADHD &ASD No13, 50-51, 2018.

3 学会等での活動

- 1) 笹田哲：書字困難児童のための“カタカナ”字形トレーニングワークの開発に関する研究. 第51回日本作業療法学会（東京都）2017. 9.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) NHK Eテレ「ストレッチマンV」番組企画委員
- 2) 日本作業行動学会 学術誌査読委員
- 3) 日本作業行動学会 理事
- 4) 日本発達系作業療法学会 理事
- 5) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
- 6) 日本作業療法士協会研究助成審査委員
- 7) ヒューマンサービス研究会世話人

5 学内教育活動

- 1) 大学院博士論文 指導教員
- 2) 大学院修士論文 指導教員
- 3) 学部生卒業研究 指導教員
- 4) 学部「遊び余暇活動治療学」で地域小学校との連携授業を導入
- 5) 2017年オープンキャンパス入試相談

6 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会委員長

7 社会貢献

- 1) 横須賀市立馬堀小学校交流授業 2017.11.
- 2) 神奈川県立養護学校自立活動（専門職）OT部会アドバイザー2017.
- 3) 神奈川県立教育センター 特別支援教育研究事業 研究指導 2017.
- 4) 神奈川県立養護学校管理栄養士 講師 2017.12.

氏名 奥原 孝幸 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 新宮尚人, 谷村厚子, 奥原孝幸他. 能登真一, 山口昇, 玉垣努他編集. 作業療法評価学(標準作業療法学 専門分野) 第3版(精神機能作業療法における観察法と面接法). 東京: 医学書院 2017.12. p 478-481.

2 学術論文

- 1) 小砂哲太郎, 水野健, 奥原孝幸. 療養病棟へ長期入院中の統合失調症高齢患者の介護の手間と作業機能の状態. 病院・地域精神医学 2018.3 ; 60 (3) : 270-274.
- 2) 小砂子哲太郎, 水野健, 野村千佳, 小林崇志, 奥原孝幸. 精神科急性期における作業療法が患者の主観的体験に与える影響—入院回数, 作業療法実施形態による比較—. 神奈川作業療法研究 2018.3 ; 8 (1) : 23-29.

4 学会等での活動

- 1) 奥原孝幸. 講演, リカバリーと CBT～CBT の理論と実際, 基礎理論とその臨床をリカバリーと結び付けて～. 横浜: 横浜 CBT に集う会. 2017.5.
- 2) 水野健, 小砂哲太郎, 奥原孝幸他. 学会発表, アルコール依存症に対する作業療法実施に必要な能力リストの作成の試み. 東京; 第 51 回日本作業療法学会. 2017.9
- 3) 奥原孝幸. 講演, 作業療法生涯教育概論. 横浜: 神奈川県作業療法士会現職者共通研修. 2017.10.
- 4) 奥原孝幸. 講演, 事例報告登録制度. 横浜: 神奈川県作業療法士会研修会. 2017.12
- 5) 奥原孝幸. 講演, 本会の発表テーマの変遷と認知行動療法的意味付け. 横浜: 横浜 CBT に集う会. 2018.1.
- 6) 奥原孝幸. 座長, 神奈川県作業療法士会事例報告会. 横浜: 神奈川県作業療法士会現職者共通研修事例報告会. 2018.3.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市自殺対策連絡会構成員 (副座長)
- 2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当
- 3) 日本作業療法士協会制度対策部保険委員会委員
- 4) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 5) 日本作業療法士協会学会演題審査委員
- 6) 神奈川県作業療法士会理事 (教育部担当)
- 7) 神奈川県作業療法士会代議員
- 8) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員
- 9) 横浜 CBT に集う会代表
- 10) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 11) 精神科作業療法集談会世話人

12) 第3回神奈川県臨床作業療法大会実行委員

6 学内教育活動

- 1) チューター会
- 2) 保健医療福祉論 I ファシリテータ

7 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会委員

8 社会貢献

- 1) 横須賀市自殺対策事業

氏名 白濱勲二（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 白濱勲二 他著：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版，内部疾患の評価 p410-436. 上肢機能検査、p204-212. 医学書院. 2017.12（東京）

2 学術論文

- 1) 三輪 一馬，白濱 勲二：橈骨遠位端骨折患者におけるギプスシーネ固定による運動イメージ想起能力の変化. 日本作業療法研究学会雑誌 (1882-0948)20 巻 1 号 Page1-6(2017.06)
- 2) 白濱勲二：セラピストのための研究倫理. 神奈川作業療法研究雑誌.Vol8, (1) p1-6, 2018

3 その他の著作

- 1) 白濱勲二. 作業療法教育と研究倫理. 日本作業療法研究学会雑誌 20(1): p63-63, 2017.

4 学会等での活動

- 1) 牛腸昌利，白濱勲二，聞間亜実：片麻痺上肢機能障害における課題志向型訓練とIVESの短期，長期効果. 第51回日本作業療法学会（東京）. 2017年
- 2) 白濱勲二、札野 優、牛腸 昌利、安田 大典：回復期リハビリテーション病棟における入院時FIM得点による自宅復帰の予後予測. 第16回神奈川県作業療法学会（横須賀）. 2017年7月2日.
- 3) 札野 優、吉川麻衣、小野雅之、川越純一、白濱勲二：子育て交流広場での作業療法士の取り組み～産後の母親が抱える尿失禁に関するアンケート調査～. 第16回神奈川県作業療法学会（横須賀）. 2017年7月2日.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二. 日本作業療法学会 演題査読委員
- 2) 白濱勲二. 日本作業療法学会 事例報告登録制度審査委員（A審査）
- 3) 白濱勲二. 日本作業療法研究学会雑誌 編集同人
- 4) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 理事
- 5) 白濱勲二. 第16回神奈川県作業療法学会、口述発表座長.
- 6) 白濱勲二. 第16回神奈川県作業療法学会、事務局長

6 学内教育活動

- 1) 白濱勲二. 学部担当科目等の視聴覚教材製作
- 2) 白濱勲二. 学部卒業研究指導
- 3) 白濱勲二. 保健学研究科における講義、演習、研究指導。

4) 白濱勲二. 大学院生の教育・研究指導

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会 委員長 2017年4月～現在
- 2) 研究科運営委員 委員

8 社会貢献

- 1) 白濱勲二. オープンキャンパスでの入試相談 2017.8.5-6
- 2) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 第44～47回研修会 企画運営・実施.

9 講演, 放送

- 1) 講演: 白濱勲二. 勉強会「回復期リハビリテーション病院における脳卒中、整形外科疾患に対するリハビリテーション介入の効果について」医療法人社団哺育会桜ヶ丘中央病院. 神奈川県大和市. 2017年11月29日.
- 2) 学内研修会 講師: 白濱勲二. 研究倫理講習会 2018年5月24日・6月10日

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 「作業療法士養成校の臨床実習における情意領域 に関する簡易版 実習評価表の開発」 協働研究者 基盤研究(C)(一般) 1200千円 安田 大典, 飯山準一, 白濱 勲二, 益満美寿、水野(松本)由子 研究経費:平成26年度 790千円、平成27年度 410千円

氏名 小河原 格也 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Suzuki T, Ogahara K, Higashi T, Sugawara K. The effect of cane use on attentional demands during walking. J Mot Behav 2017: 1-6

4 学会等での活動

- 1) Kakuya Ogahara, Tomotaka Suzuki, Toshio Higashi. Association between intracerebral activity and motor learning using darts. 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium (APOTS2017) in Taoyuan, Taiwan (October 20th -22nd).

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 代議員
- 2) 第16回神奈川県作業療法学会 企画局長
- 3) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員

6 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学，老年期作業療法学演習 科目責任者
- 2) 地域作業療法学，地域作業療法学演習 科目責任者
- 3) 作業療法管理運営 科目責任者
- 4) 学部担当科目 (一部担当)
作業療法概論，評価学概論，作業適応学，運動学，作業運動学，遊び・余暇活動治療学，作業療法理論，卒業研究，地域理学療法学，在宅看護学
- 5) 大学院担当科目 (一部担当)
機能障害作業療法学，機能障害作業療法演習
- 6) 国家試験対策
- 7) 学部卒業研究指導 (3年生 3名，4年生 3名)
- 8) 大学院副指導教員 (4名)

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会
- 2) 学生委員会
- 3) 実習センター運営委員会
- 4) チューター

8 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議構成員
- 2) 小規模多機能なかよし運営推進会議構成員

- 3) RUN 伴＋三浦半島
- 4) オープンキャンパス

9 講演，放送

- 1) 平作カフェ健康教室講師．主催：グループホームいずみ有志（2017.7.18）
- 2) 介護予防指導者向け研修会 - 根拠を知って正しい普及啓発 - 講師．主催：横須賀市地域包括支援センター 保健師・看護師部会（2017.9.20）
- 3) 平成 29 年度 地域の底力アップ教室講師．住み慣れた地域でイキイキと生活・活躍するためのポイント．主催：横須賀市西第一包括支援センター（2018.2.28）
- 4) かもめ団地 貯筋運動の紹介．主催：小規模多機能なかよし・運営推進会議（2018.3.19）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金・若手研究 B（平成 28 年度～30 年度）
「運動学習における脳内活動の縦断的変化と補助手段活用による促進効果の検証」

氏名 長山 洋史 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 能登真一他編, 作業療法評価学第3版, 「日常生活活動の評価」部分執筆, 東京, 医学書院, p213～23

2 学術論文

- 1) Ohno Kanta, Tomori Kounosuke, Takebayashi Takashi, Sawada Tatsunori, Nagayama Hirofumi, Levack William M. M., Domen Kazuhisa, Higashi Toshio. Development of a tool to facilitate real life activity retraining in hand and arm therapy. *British Journal of Occupational Therapy*, Vol 80, Issue 5, pp. 310 – 318
- 2) 齋藤佑樹, 長山洋史, 友利幸之介, 菊池恵美子. ADOC が作業療法面接に与える影響-アンケート調査による探索的研究-. 作業療法 36,299-308, 2017
- 3) 山口清明, 奥津光佳, 長山洋史, 友利幸之介. 幼稚園・保育園でのコンサルテーション型作業療法の効果検証に向けた試験的研究. 作業療法 (印刷中)

4 学会等での活動

- 1) Tatsunori Sawada, Kounosuke Tomori, Hirofumi Nagayama, William Levack. Usefulness of Canadian Occupational Performance Measure (COPM) for Japanese clients -A literature review-. 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium (Taiwan) ,2017
- 2) Kounosuke Tomori, Tatsunori Sawada, William Levack, Kayoko Takahashi, Hirofumi Nagayama. Development of iPad applications for promoting shared decision-making in goal-setting: Aid for Decision-Making in Occupation Choice (ADOC) series. 1st Asia Pacific Occupational Therapy Symposium (Taiwan) ,2017
- 3) 長山洋史, 石橋裕, 小林隆司, 小林法一. 訪問型サービスCにおけるリハビリテーション専門職の支援と効果に関する予備的研究. 第76回日本公衆衛生学会(鹿児島), 2017
- 4) 小林法一, 石橋裕, 小林隆司, 長山洋史. 通所型・訪問型サービスC事業における対象者の具体的な個別目標とその達成度. 第76回日本公衆衛生学会(鹿児島), 2017
- 5) 石橋裕, 小林法一, 小林隆司, 長山洋史. 通所型・訪問型サービスCを利用する高齢者の基本チェックリストの通過率の傾向. 第76回日本公衆衛生学会(鹿児島), 2017
- 6) 小林隆司, 小林法一, 石橋裕, 長山洋史. 生活行為向上リハビリテーションに基づいた介護予防サービスの効果. 第76回日本公衆衛生学会(鹿児島), 2017
- 7) 長山洋史, 松富綺璃子, 杉本美和, 友利幸之介. 作業に焦点を当てた介入の効果-傾向スコアマッチングによる検証-. 第51回日本作業療法学会(東京), 2017
- 8) 泉良太, 能登真一, 佐野哲也, 長山洋史. 共分散構造分析を用いた脳卒中患者の健康関連QOL構造の検討. 第51回日本作業療法学会(東京), 2017

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本臨床作業療法学会 論文編集委員
- 2) 第 51 回日本作業療法学会 座長
- 3) 第 51 回日本作業療法学会 査読委員
- 4) 1st International/5th Japanese congress of Clinical Occupational Therapy Scientific Program committee

6 学内教育活動

- 1) 運動学 科目責任者
- 2) 身体機能評価学Ⅰ科目責任者
- 3) 身体機能評価学Ⅱ科目責任者
- 4) 評価学演習 15 コマ
- 5) 作業療法概論 1 コマ
- 6) 地域作業療法学 1 コマ
- 7) 日常生活活動論 1 コマ
- 8) 日常生活活動演習 3 コマ

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究助成専門部会 委員
- 2) 時間割ワーキング

8 社会貢献

- 1) Health and Quality of Life (国際誌) 査読
- 2) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

9 講演，放送

- 1) ふたば薬局健康サポート講演会「健康と生きがい」講演 横浜市

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費 基盤研究 C (主研究者 長谷龍太郎) 分担研究者

氏名 杉村 直哉

(本学在籍 2017.9.1～)

4 学会等での活動

- 1) 勉強会：「就労支援（復職支援プログラム）に関する情報交換および研究のための検討会」（第1回）にて報告（2017.12）
- 2) 勉強会：「就労支援（復職支援プログラム）に関する情報交換および研究のための検討会」（第2回）にて報告（2018.2）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) ネットワーク：信州精神科作業療法研究会メーリングリスト管理者

6 学内教育活動

1) 授業関連

責任科目：基礎作業学実習

評価学概論

一部担当：遊び・余暇活動治療学（1コマ担当，学内・学外実習の補助）

作業療法理論（精神障害領域）

臨床見学実習（引率）

解剖学実習（引率）

- 2) 国家試験対策係
- 3) 臨床実習に係る業務（学生支援，実習関連書類作成，等）
- 4) 卒業研究（論文集の校正・発行作業，等）
- 5) 卒業式・修了式実行委員会

7 学内各種委員会活動

- 1) FD委員会

8 社会貢献

- 1) ミニオープンキャンパス補佐（2018.3）

9 講演，放送

- 1) 下諏訪町社会福祉協議会主催の研修会における講師
ケアマネージャー・介護福祉士等に対し、「精神障害の理解」と題する講義（2017.9）.
- 2) 社会福祉法人総合福祉施設 開田の里 職員研修における講師
「精神障害の理解」と題する講義（2017.10）.